

Kanto Regional Development Bureau



関東の「未来」をつくる仕事。

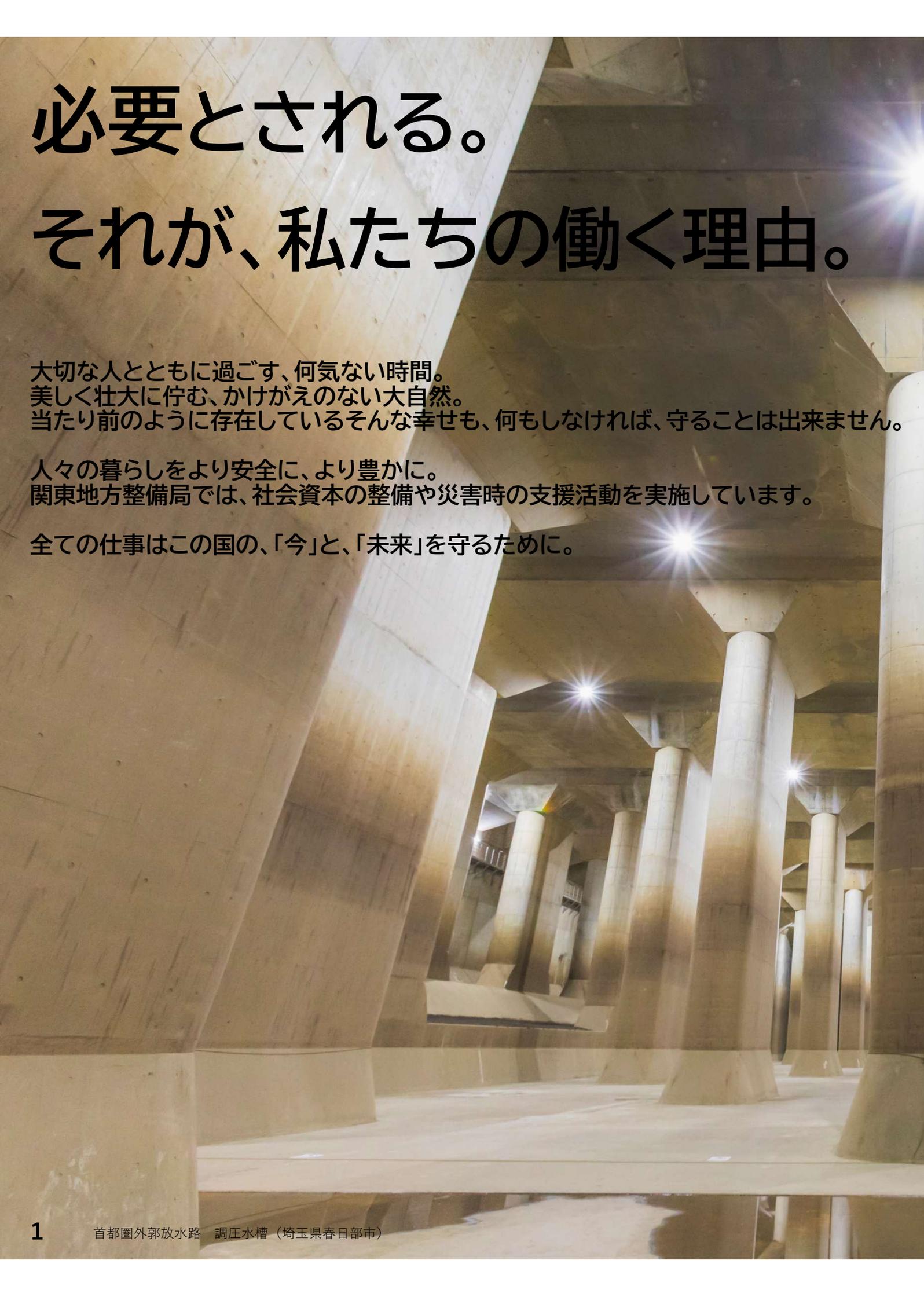


Recruitment Guide



国土交通省 関東地方整備局

採用案内(事務官)



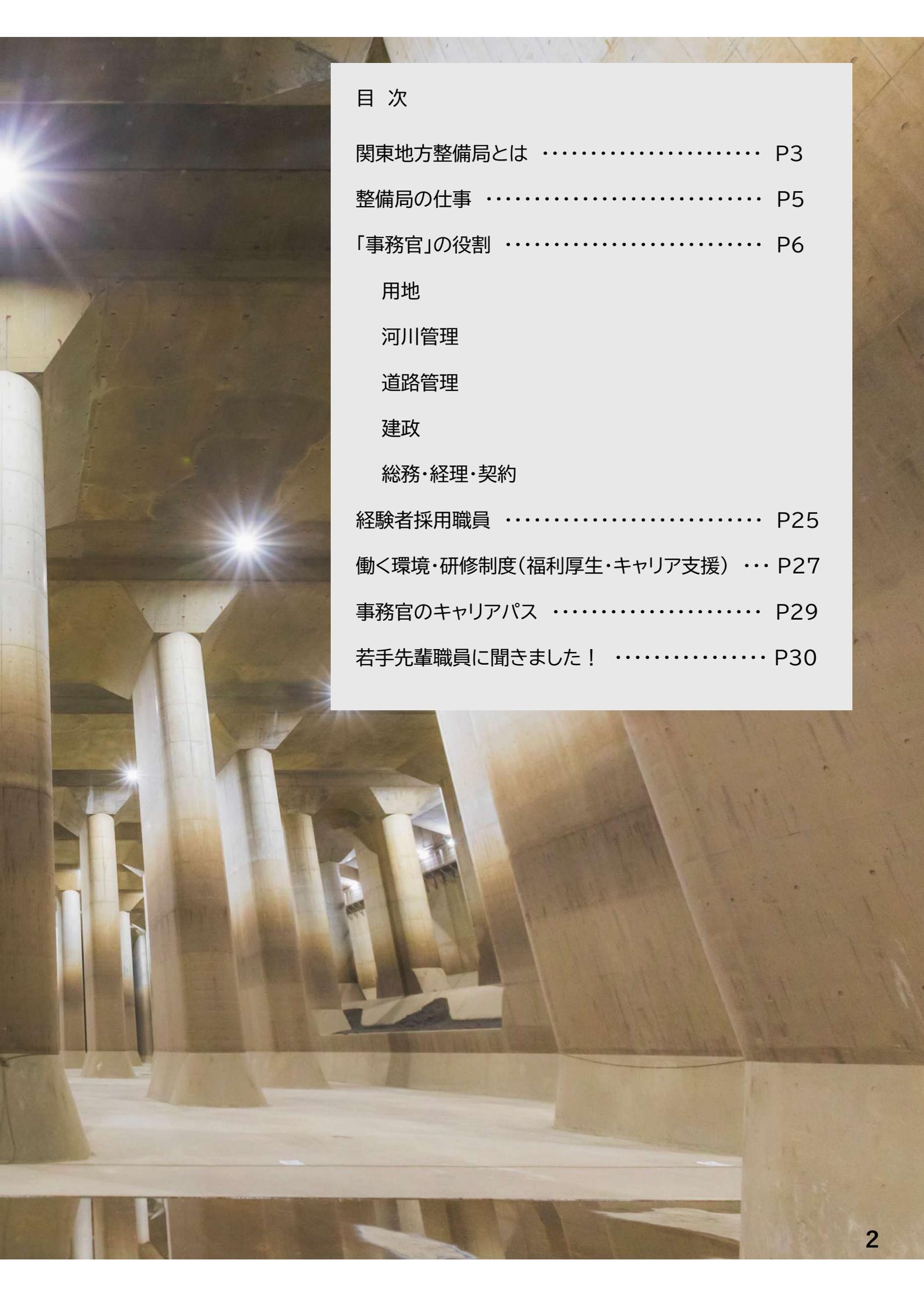
必要とされる。

それが、私たちの働く理由。

大切な人とともに過ごす、何気ない時間。
美しく壮大に佇む、かけがえのない大自然。
当たり前のように存在しているそんな幸せも、何もしなければ、守ることは出来ません。

人々の暮らしをより安全に、より豊かに。
関東地方整備局では、社会資本の整備や災害時の支援活動を実施しています。

全ての仕事はこの国の、「今」と、「未来」を守るために。



目次

関東地方整備局とは P3

整備局の仕事 P5

「事務官」の役割 P6

用地

河川管理

道路管理

建政

総務・経理・契約

経験者採用職員 P25

働く環境・研修制度(福利厚生・キャリア支援) ... P27

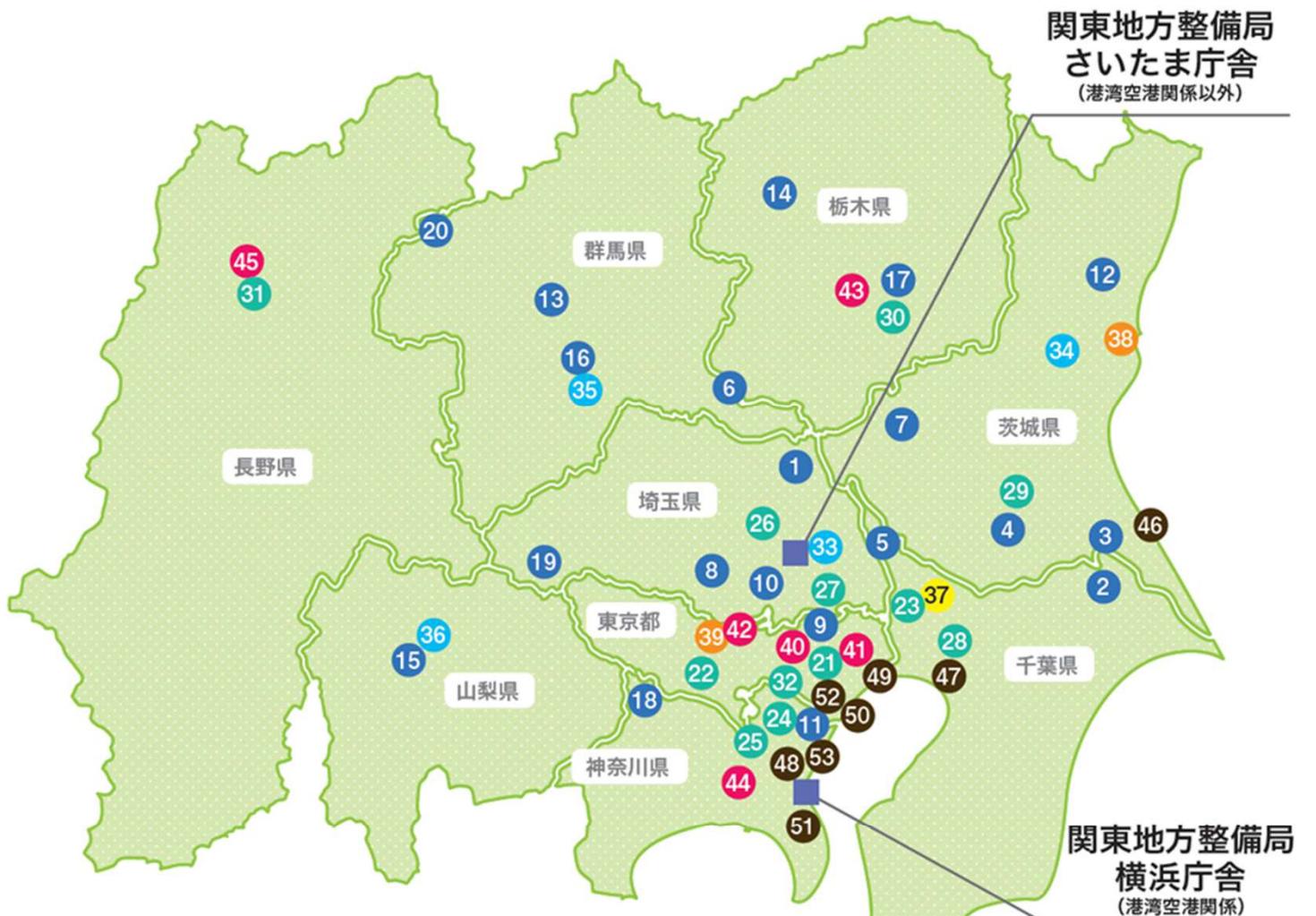
事務官のキャリアパス P29

若手先輩職員に聞きました！ P30

関東地方整備局とは

関東地方整備局は、全国の人口・資産の約4割を占めている関東地方において社会資本整備を通して、地域活性化を図り、災害に強い国土づくりに貢献することなどで、国民の命と暮らしを守っています。

「地方整備局」…河川、道路、港湾、空港、公園、官庁施設などの建設や維持管理等を行う組織



- 河川事業担当事務所
- 道路事業担当事務所
- 河川・道路事業担当事務所
- 技術事務所
- 公園事業担当事務所
- 営繕事業担当事務所
- 港湾・空港事業担当事務所



さいたま庁舎



横浜庁舎

組織体系

関東地方整備局



河川事業担当事務所

1. 利根川上流河川事務所(埼玉県久喜市)
2. 利根川下流河川事務所(千葉県香取市)
3. 霞ヶ浦河川事務所(茨城県潮来市)
4. 霞ヶ浦導水工事事務所(茨城県土浦市)
5. 江戸川河川事務所(千葉県野田市)
6. 渡良瀬川河川事務所(栃木県足利市)
7. 下館河川事務所(茨城県筑西市)
8. 荒川上流河川事務所(埼玉県川越市)
9. 荒川調節池工事事務所(埼玉県さいたま市)
10. 荒川下流河川事務所(東京都北区)
11. 京浜河川事務所(神奈川県横浜市)
12. 久慈川緊急治水対策事務所(茨城県常陸太田市)
13. 利根川水系砂防事務所(群馬県渋川市)
14. 日光砂防事務所(栃木県日光市)
15. 富士川砂防事務所(山梨県甲府市)
16. 利根川ダム統合管理事務所(群馬県前橋市)
17. 鬼怒川ダム統合管理事務所(栃木県宇都宮市)
18. 相模川水系広域ダム管理事務所(神奈川県相模原市)
19. 二瀬ダム管理所(埼玉県秩父市)
20. 品木ダム水質管理所(群馬県吾妻郡草津町)

道路事業担当事務所

21. 東京国道事務所(東京都千代田区)
22. 相武国道事務所(東京都八王子市)
23. 首都国道事務所(千葉県松戸市)
24. 川崎国道事務所(神奈川県川崎市)
25. 横浜国道事務所(神奈川県横浜市)
26. 大宮国道事務所(埼玉県さいたま市)
27. 北首都国道事務所(埼玉県草加市)
28. 千葉国道事務所(千葉県千葉市)
29. 常総国道事務所(茨城県土浦市)
30. 宇都宮国道事務所(栃木県宇都宮市)
31. 長野国道事務所(長野県長野市)
32. 東京外かく環状国道事務所(東京都世田谷区)
33. 関東道路メンテナンスセンター(埼玉県さいたま市)

河川・道路事業担当事務所

34. 常陸河川国道事務所(茨城県水戸市)
35. 高崎河川国道事務所(群馬県高崎市)
36. 甲府河川国道事務所(山梨県甲府市)

技術事務所

37. 関東技術事務所(千葉県松戸市)

公園事業担当事務所

38. 国営常陸海浜公園事務所(茨城県ひたちなか市)
39. 国営昭和記念公園事務所(東京都立川市)

営繕事業担当事務所

40. 東京第一営繕事務所(東京都新宿区)
41. 東京第二営繕事務所(東京都江東区)
42. 甲武営繕事務所(東京都立川市)
43. 宇都宮営繕事務所(栃木県宇都宮市)
44. 横浜営繕事務所(神奈川県横浜市)
45. 長野営繕事務所(長野県長野市)

港湾・空港事業関係事務所

46. 鹿島港湾・空港整備事務所(茨城県鹿嶋市)
47. 千葉港湾事務所(千葉県千葉市)
48. 東京港湾事務所(東京都江東区)
49. 東京空港整備事務所(東京都大田区)
50. 京浜港湾事務所(神奈川県横浜市)
51. 東京湾口航路事務所(神奈川県横須賀市)
52. 特定離島港湾事務所(東京都品川区)
53. 横浜港湾空港技術調査事務所(神奈川県横浜市)

整備局の仕事

関東地方の安心・安全・豊かな生活のために
 関東地方整備局では事務官と技官が連携して業務を進めています。

事業を進める



地域・業界を支える



組織・職員を支える



「事務官」の役割

事業を進めるための用地の取得、社会資本の利用調整、自治体や建設業界の支援、職員が安心して働ける環境づくりなど、整備局で働く事務官は様々なもの・ことを「支える」役割を担っています。すべては国民の安心・安全・豊かな生活につながる。その信念のもと、やりがいと誇りをもって仕事をしています。

「事業」を支える



用地

「安心・安全な利用」を支える



河川管理



道路管理

「地域・業界」を支える



建政

「組織・職員」を支える



総務・経理・契約



Continued on next page →

用地



用地の業務は、新たに道路や堤防など社会資本を整備するための土地の取得を行います。用地を取得するためには、土地所有者の方の財産に対し適正な価格を算定し補償を行う必要があります。

土地所有者の方に補償内容を理解していただく必要もあるため、説明力も必要です。



Interview

阿部 拓己

Abe Takumi

荒川上流河川事務所 用地課

令和3年度入省

困ったことは上司や同僚にすぐ相談。用地交渉では、わかりやすく、誠実な行動を心がけています。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

降った雨が一度に川に集中しないよう計画的に流域に水を貯め、洪水被害を軽減する取り組みで都幾川遊水地を整備しています。私が所属している用地課は、遊水地を整備するのに必要な土地を確保するため、地権者の方に対し、交渉から土地等に対する適正な補償までの一連の流れを行う用地業務に携わっています。

Q2：業務の中で大変だったことや困ったことはありましたか。

最初の頃は、右も左も分からず全てのことに混乱しました。他事務所にも同種の業務を行っている同期などもあるので、困ったことがあればすぐに相談するようにしています。一人で抱え込まず上司や同僚に相談することが一番の解決方法だと思います。

Q3：印象に残っている仕事はありますか。

事業反対者への用地交渉です。事業協力依頼のため、雨の日も風の日もあきらめずに訪問したことを覚えています。

Q4：この仕事で求められるスキルや姿勢は何だと思いますか。

相手がわかりやすいように資料を整え、自分の言葉で話すことに挑戦する姿勢が大切なかなと思っています。また、人の財産をお譲りいただくので、特に地権者の方への対応時には、行動ひとつひとつに誠実さを持って取り組むよう心がけています。



■主な業務内容

- ・用地取得に関する事務(土地の測量・物件調査、用地取得・協議、契約締結、登記など)
- ・用地取得に伴い必要となる損失の補償に関する事務

■用地業務ができる部署

- ・本局用地部
- ・事務所用地課



Q5：用地業務の魅力は何ですか。

土地の知識であったり、相続や登記、税金関係など生きていくうえ役に立つ様々な知識が身につく点が魅力と感じています。また、交渉のほかにも現地の調査等で現場に出る機会が多いため、おいしい現地飯を探すことも楽しみの一つです。



土地境界立会の様子
事業に必要な土地と隣接土地の境については、隣接する相互の所有者に確認していただきます。

Q6：オフの日の過ごし方を教えてください。

バイクやキャンプに行くのが好きです。
また、同期や友人と雑貨屋、居酒屋巡りをしたりもしています。



同期と6泊7日の北海道旅行

Q7：未来の後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

この職場は休みも取りやすく、仕事とプライベートのメリハリをつけて生活でき、それが仕事のモチベーションにもつながっています。
今は勉強や面接練習など大変なことが多いと思いますが、悔いのないように頑張ってください。一緒に働くことを楽しみにしています！

用地 阿部さんの

ある日のスケジュール

9:00 出勤

- ・まず最初にメールチェック、その後、用地交渉に持っていく資料の最終チェックを行います。

10:00 用地交渉

- ・地権者の方のご自宅等に伺い、事業の内容や土地の補償に関する説明を行います。

12:00 昼休み

- ・現場近くの定食屋でランチ。



13:00 事務所へ戻り用地交渉記録作成

- ・用地交渉時に話した内容を記録し、課内へ共有します。



14:00 資料内部決裁

- ・交渉時に地権者に説明・配布する資料を作成し、事務所長まで確認(決裁)していただきます。

16:00 交渉の準備

- ・決裁完了した資料を次の交渉に向け準備します。資料は同行者にも事前に確認してもらいます。

17:45 終業

- ・勤務時間後は、時間があればジムへ行きます。上司や同僚と飲みに行くこともあります。

用地



Interview

齋藤 愛弓

Saitou Ayumi

大宮国道事務所 用地第二課
令和3年度入省

用地業務は事業着手に必要不可欠。
自分の仕事が地図に残るところが最大の魅力です。

Q1：関東地方整備局を志望した理由を教えてください。

道路や川など国民生活に身近なところに携われること、さらに国特有の事業の規模の大きさに魅力を感じ志望しました。大きな事業を通して国民生活を守ることに興味がある方には、ぴったりの組織だと思います。

Q2：現在行っている業務について教えてください。

国道の交通混雑の緩和や沿道環境の改善をする新たなバイパスを通すための用地を買収しています。具体的には、買収する土地の代金・補償費の算定や、調書・契約書などの書類作成を行っています。また、実際に買収予定の現場を見に行き、補償の内容が適切かどうか確認をしたり、土地を引き渡していただいたときに行う完了検査などで外出する機会もあります。



土地引渡の完了検査の様子

Q3：仕事をする上で大切にしていること、心がけていることは何ですか。

わからなかったり、自信がないことはわかる人にすぐに確認や質問することを心がけています。ただ訊くのではなく、「自分はこう考えていますが、いかがでしょうか？」と、自分の中で整理してから質問するとスムーズに解決できることがあるのでそうしています。

そして、わかったことは、自分の知識や経験として蓄積するためにあとで改めてメモを取るようになっています。話を聞きながらのメモと違い、教えていただいたことを思い出して整理しながらメモを取っているので、より理解が深まります◎



現場に出たときは外食することも楽しみの一つです。



Q4：用地業務の魅力は何ですか。

事務官でありながら、事業に大変近いところに携わることができ、自分の仕事が地図に残るところが用地業務の最大の魅力だと思います。道路を通すにも、堤防を作るのにも、砂防を作るのにもまずは土地が必要です。事業着手の一步として、地権者さんから土地をお譲りいただくというステップは必要不可欠であり、大きな役割と同時に使命感も実感します。その役割を果たし、工事が進んでいくのを見てみると、事業にご協力いただいた地権者さんへの感謝の気持ちと用地業務へのやりがいを感じます。



Interview

宮崎 和也

Miyazaki Kazuya

久慈川緊急治水対策河川事務所

用地課

令和6年度入省

用地は常に相手がいる業務。
契約できた時の達成感が
大きな魅力の一つです。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた久慈川流域の治水対策事業のために、土地の権利者と売買契約を結ぶことで、堤防整備等に必要な土地を確保する業務（用地業務）を行っています。

用地業務は、契約に必要な書類の作成から、権利者に対し事業や補償について説明する業務（用地交渉）、買収後の登記移転申請など、多岐にわたっているので必要に応じて、専門の業者に業務を委託しており、そのために生じた調整や業務方針の指示を出すことも業務の一部になります。

Q2：これまでで特に印象に残っている仕事はありますか。

竹が生い茂る山林の中での測量・物件調査に立ち会った際、藪の山を踏みながら無理やり通路を作って、土地の境界の杭を探したことが特に印象に残っています。今まで何度か現地での調査に立ち会う機会がありましたが、その度に、関東地整の職員でなかったら巡り合うことのなかった経験をしているなと思いますので、立ち会った調査はどれも印象に残っています。用地交渉も含めて、用地業務は外に出る機会が他の事務系の部課より比較的多いと思いますが、これは用地課ならではの特征ではないかと思います。

Q3：職場の雰囲気教えてください。

今の事務所は同年代の若手職員が多く、分からないことや業務のやり方・進め方を気軽に相談し合うことができるので、安心して働ける環境です。また、上司も優しく丁寧に教えていただけなので、気軽に報告や相談ができます。さらに、用地課だけでなく、工務課・総務課とも連携しながら、チームワークで事務所一体となってプロジェクトに取り組んでいます。風通しも良く、働きやすい職場であると思います。

Q4：用地業務の魅力は何ですか。

用地は常に相手がいる業務ですので、その時々相手方や状況に応じたアプローチが必要となる場合があります。時には相手方から厳しい意見をもらったり、マニュアル通りの対応では業務を進めることができないことがあります。これまでに習得した経験や知識を使い、上司や先輩方に相談したり、先行事例も参考にしながら、ある程度裁量をもって業務を進められることも、用地ならではのやりがいであると思います。また、粘り強い交渉を経て、最終的に契約できた際に得られる達成感も用地業務の大きな魅力の一つです。



買収後の検査に必要な写真を撮っています。



大学生からマラソンをやっています。昨年つくばマラソンに出ました！

河川管理



河川管理の業務は、河川利用の適正化を図り、洪水時の被害を抑制し、より良い河川づくりを進めていくことが使命です。

具体的には、河川における国有地の占用や工作物の設置、土地の掘削、水利使用に必要な許可申請について河川法に基づき審査を行います。

また、河川における不法係留船や不法耕作等の不法行為対応にもあたります。



Interview

千葉 葵

Chiba Aoi

霞ヶ浦河川事務所 占用調整課

令和6年度入省

現場に行く機会も多く、多岐にわたる業務を経験できるのが魅力です。

Q1：関東地方整備局を志望した理由を教えてください。

地理が好きなことと、関東甲信1都8県のような事務所で多くの方々と関わりながら、河川や道路などの幅広い業務に携わりたいと思ったからです。あとは、国土交通省という名前がかっこよかったからです！

Q2：現在行っている業務について教えてください。

主に、河川敷地内の国有地を使用したり、河川等の水を取水する際に必要な河川法に基づく許認可等の手続きを行っています。事務職ながら現場に行く機会も多く、日々勉強しながら業務に励んでいます！

Q3：入省前と現在で、仕事のイメージはどう変わりましたか。

とても働きやすいと感じています。入省前、公務員はすごく堅苦しいイメージがありましたが、話しやすい職員の方々ばかりで優しく接していただいています。また、年次休暇の取りやすさやフレックス制度の活用が促進されていて、プライベートの時間も確保しやすいです。

Q4：これまでで特に印象に残っている仕事はありますか。

採用されて初めて担当を任された、河川法第24条・第26条に基づく許認可事務です。占用許可期限が途切れないように、事前に関係者と協議を行い、許可を更新できたときには達成感を感じられます。



同僚と一緒に災害対応演習に取り組みました。

■主な業務内容

- ・河川法に基づく許認可等の手続き
- ・河川における不法係留船や不法耕作等の不法行為対応

■河川管理業務ができる部署

- ・本局河川部
- ・河川事務所管理課・占用調整課
- ・河川出張所



Q5：仕事をしていく中で自分が成長したと感じることはありますか。

上司の判断を待つだけでなく、自分がどのように仕事を進めたのいかを伝えることができたときや、以前よりもスムーズに仕事をこなせたときは成長したと感じます。

Q6：職場の雰囲気を教えてください。

自分の所属する占用調整課は、課内の仲が良くプライベートの話も気軽にできるうえ、個々の仕事に対して全員が協力的であり、良い雰囲気で仕事に取り組んでいます。



潮来市レガッタ大会に事務所のメンバーで参加しました。

Q7：あなたのリフレッシュ方法は？

とにかくいっぱいご飯を食べていっぱい寝ます。また仕事で悩みがあるときは同僚に声をかけて飲みに行ったりします。

Q8：河川管理業務の魅力は何ですか。

一般に河川とは、「一級河川」、「二級河川」、「準用河川」のことをいいますが、関東地方整備局は、その中でも大きな河川である“一級河川”の維持管理を行うことができます。業務の中で現場に行く機会も多いことや、河川法に基づく協議を関連自治体等を行うことで、調整能力や業務推進能力といったスキルを磨くこともできます。

河川を通して多岐にわたる業務を経験できることや、仕事をしていく中で、自分は河川管理に携わる者の中の一人なんだと実感できるところに魅力を感じています。



河川管理 千葉さんの

ある日のスケジュール

8：00 出勤（フレックス制度を利用してます！）

- ・出勤して最初にメールを確認します。その後スケジュールを確認し、何時頃に現場や打合せがあるか把握します。

9：00 申請書の確認や書類作成、電話対応など

- ・申請書の内容を確認し、所内決裁に必要な書類を作成します。
- ・一般の方からの問い合わせがあれば、位置図の確認や問い合わせ内容を調べ、その日中に対応することを心掛けています。



12：00 昼休み

- ・基本的には持参したお弁当を食べ、自分の車の中でゆっくりしていることが多いです。

13：00 現場視察・打合せ

- ・図面だけでは分からないことも現場視察に行くことでイメージしやすくなり、仕事が進めやすくなります。
- ・打合せでは、どのような河川法申請なのか内容を確認し、手続きを円滑に進められるように申請者と打ち合わせを行います。



16：00 議事録作成等

- ・打合せ後は議事録を作成したり、終わっていない業務を行います。

16：45 退勤

- ・勤務時間後は、スーパーで買い物をして夕飯を自炊することが多いです。時間がある日は同僚と一緒に外食したり遊びに行くこともあります。

河川管理



Interview

吉永 充希

Yoshinaga Atsuki

河川部 水政課

令和3年度入省

当初は聞き慣れない言葉に戸惑うことも。担当の案件を完了できた時には達成感があります。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

私が担当しているのは、河川管理業務の中でも「水利権」に関する仕事です。水利権とは、川の水を利用するための権利のことで、農業用水や工業用水、発電など、さまざまな目的で水を使う際に必要になります。

具体的には、申請書類の内容を確認し、河川法やその他の規則に基づいて適正に水を利用できるかを審査します。また、既存の水利権の内容申請通り正しく守られているかをチェックし、必要に応じて関係者と調整を行います。水は地域の生活や産業にとって欠かせない資源なので、利用のバランスを保つことがとても重要です。そのため、業務では正確な情報整理や公平な判断が求められます。



打合せでは案件の説明を行うことも

Q2：業務の中で大変だったことや困ったことはありましたか。

業務を始めたばかりの頃は、打合せに参加しても専門用語や背景知識が分からず、正直なところ話の内容をほとんど理解できませんでした。水利権の調整は河川法などの法律に基づいて行われるため、会話の中には普段聞き慣れない言葉が多く、最初は戸惑うことばかりでした。

しかし、周囲の先輩方が丁寧に説明してくれたり、資料を使って背景を教えてくれたりしたおかげで、少しずつ理解できるようになりました。質問しやすい雰囲気があったことも大きく、分からないことをそのままにせず、確認しながら進められたのはとても助かりました。

Q3：現在の業務にやりがいを感じたのはどのような時ですか。

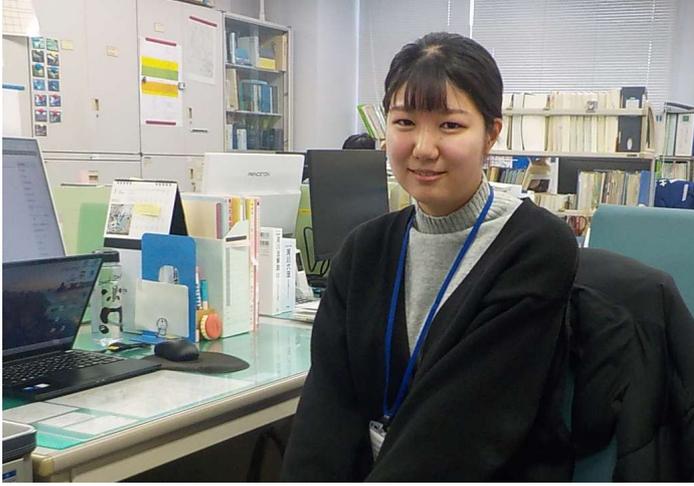
水利権の申請手続きを自分で最後まで担当し、無事に許可が出せたときです。書類のチェックや関係者との調整など、難しい作業もありましたが、案件を完了できたときには達成感がありました。

Q4：勤務時間後やオフの日の過ごし方を教えてください。

勤務時間後や休日は、しっかりリフレッシュするようにしています。仕事が終わった後は、家でゆっくり過ごしたり、趣味の時間を楽しんだりします。休日には買い物に出かけたり、サッカー観戦をしたり、体を動かすために軽い運動をすることもあります。オンとオフの切り替えがしっかりできるので、仕事にも集中しやすい環境です。



休日は趣味のサッカー観戦へ



Interview

大野 愛果

Oono Manaka

常陸河川国道事務所 占用調整課
令和7年度入省

現場に足を運ぶことが、勉強であると同時に楽しいと感じています。

Q1：関東地方整備局を志望した理由を教えてください。

近所に川がある環境で育ち、治水や河川管理に興味があったためです。現場に近い立場で大規模な河川事業に関する業務に携わることができると思い、関東地方整備局を志望しました。

Q2：現在行っている業務について教えてください。

主に河川法に関する許認可事務を担当しています。具体的には、河川敷を運動場や花火大会の会場として占用するための申請や、橋の架け替え工事やインフラ設備設置工事などを河川敷で行う場合の申請を取り扱っています。申請者から提出された書類に不備がないか確認し、河川への影響などを踏まえて許可の可否を判断しています。

Q3：これまでで特に印象に残っている仕事はありますか。

久慈川・那珂川水系一斉クリーン作戦という河川敷の清掃活動が印象に残っています。猛暑で早朝の作業にもかかわらず、事務所の職員や自治体職員だけでなく、たくさんの地域の方々が河川美化のために参加してくれたことが印象的でした。

Q4：河川管理業務の魅力は何ですか。

事務所の河川管理業務では事務官でも現場に行く機会があることが魅力だと思います。許認可事務に関する現場視察はもちろんのこと、築堤中や完成したばかりの堤防、ダムの現場など河川に関する様々な現場に行くことができます。現場に足を運ぶからこそ分かる知識を教えていただけるのも勉強になり楽しいと感じています。



橋の構造や点検方法を学ぶ小中学生向けの体験講座に参加し、説明を行いました。



同期とひたち海浜公園に遊びに行きました。

Q5：職場の同僚や上司との関係はどうですか。

課内では上司や先輩職員の皆さんが分からないことを丁寧に教えてくださり、困ったときにも助けていただけるので、とてもありがたく感じています。他の課や出張所の方々も話しかけやすく穏やかな雰囲気があるため安心して働いています。

道路管理



道路管理の業務は、道路区域の決定・変更、供用開始、巡回・維持管理、道路の占用、道路管理瑕疵対応等を行います。

道路は、人々が生活するうえで欠かすことのできない社会資本です。

今や道路は、日常の交通機能だけでなく、駅・まちと一体となった都市機能としての役割や、災害発生時緊急輸送路といった防災機能の役割も担っており、業務を通じこの幅広い役割を機能させています。



Interview

高野 翔弥

Takano Shouya
北首都国道事務所 管理課
令和2年度入省

道路の安心・安全を守ることで
人々の生活を支えているという実感が
もてる仕事です。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

道路管理事務全般を担当していますが、主に占用許可手続き及び特殊車両の通行協議の審査を担当しています。普段多くの人、車が当たり前のように利用している「道路」が安心して通行できるよう適正に管理していくため、道路法に基づいた申請について資料の審査や不法な道路利用状況を是正するためパトロールなど行っています。



不法占用指導の様子

Q2：業務の中で大変だったことや困ったことはありましたか。

道路管理者として現地へパトロールに出た際に、国民の方から直接意見・要望を頂くことがあります。日々より良い道路環境の実現を目指して業務を行っていますが、中には簡単には応えられないような意見・要望を受けることもあり、対応に苦慮しています。

そのような時は、意見・要望に応えられないからとぞんざいにせず、国民一人一人の意見・要望に寄り添うため、課内で内容を共有し、納得いただけるよう繰り返し粘り強く説明することを心がけています。そうすることが、国民の道路管理者への信頼に繋がり、良い関係を築いていくきっかけになると思っています。

Q3：道路管理業務の魅力は何ですか。

完成した道路を管理していくことが主な業務であり、地域に住む人々との距離が近く、その声を一番に聞くことができます。その分たくさん苦労もありますが、道路の安全・安心を守り、人々が長く道路を利用していくため、地域の人々と一体となって道路の面倒を見ていくことに魅力を感じます。道路管理業務は多岐にわたり、関係法令も多く業務の中で難しく感じることもあります。申請に係る審査のため、多くの資料を確認するなど大変なこともあります。適正に道路管理を行うことで、自分の仕事の人々の生活を支えているということを実感することができます。

■主な業務内容

- ・道路区域の決定
- ・道路占用許可申請の審査
- ・道路管理瑕疵への対応

■道路管理業務ができる部署

- ・本局道路部
- ・国道事務所管理課
- ・国道出張所



Q4：特に印象に残っている仕事はありますか。

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）隊員として現地で被害状況の調査等の活動を行ったことです。私は、令和6年9月に発生した能登半島の大雨災害で初めてTEC-FORCE隊員として活動を行いました。土砂崩れが発生した市道等の被害状況について調査を行い多くの箇所を回りましたが、現地は同年1月に発生した大地震の爪痕がいたるところに残されており、地震の被害の大きさも同時に痛感しました。

調査時は現地の人々から貴重なお話を聞くことができました。現地の人々の気持ちに寄り添い、一日でも早い復興を目指して活動に尽力したことは今でも印象に残っています。災害復興に微力ながら携わることができたことで、防災の重要性を改めて考える機会となり、通常業務へのモチベーションへと繋がりました。



TEC-FORCE 内業の様子

Q5：関東地整のおすすめポイントを教えてください。

いろいろな地域の特色を知ることができます。

私は山梨県の甲府河川国道事務所に採用されました。山梨県には一度も行ったことがありませんでしたが、仕事やプライベートを通してその土地をたくさん見て回り、新たな発見をたくさんしたことで、今では第2の故郷のように感じています。異動も多いですが、その度に違う仕事を担当したり、新しい土地に行くことができるため新鮮に感じることが多いと思います。

Q6：関東地整を志望する方へメッセージをお願いします。

自分の仕事が誰かのためになる。関東地方整備局はそう感じさせてくれる職場だと思います。初めのうちは仕事に戸惑う部分もあるかと思いますが、研修を多く開催してくれたり、手厚いサポートもあるので安心して働ける環境です。仕事内容は道路管理だけではなく、河川、防災、用地、営繕など他にもたくさんあります。入省したら何をしたいか、まずは考えてみるといいと思います。それぞれの役割で人々の生活をサポートできるよう、共に頑張りましょう！

道路管理 高野さんの

ある日のスケジュール

8：30 出勤

- ・まず最初にメールチェック、そのあとは受付済みの申請書の審査を行います。内容に問題があれば修正依頼をします。申請書の内容調整後に所内決裁をし、許可書の発行を行います。

10：00 業者との打ち合わせ

- ・道路法に基づく申請について、出張所が資料の調整を行うので、内容の打ち合わせを出張所担当者及び業務委託業者と行います。



12：00 昼休み

- ・持参したお弁当を食べ、午後の始業時間まで昼寝をして午後の業務に備えます。

13：00 不法占用指導

- ・月に1回、不法占用指導を行います。管理区間を車で回り、違法に設置されている物件がないかを確認します。必要があれば違法物件の所有者に指導を行います。
※そのほか、年に数回、特殊車両の通行取締りも行います。



16：00 申請書審査等

- ・事務所へ戻り、申請書の審査、調べ物の報告書作成などを行います。基本的には申請書の確認を午後メインで行います。

17：15 終業

- ・勤務時間後は、夕食を自炊して、家でのんびりテレビなどを見て過ごします。
- ・金曜日は同僚と飲みに行ったり、友人とフットサルを楽しみます。

道路管理



Interview

川中子 生成

Kawanago Kinari

道路部 路政課

令和3年度入省

自分の仕事が現場で形になっていることにやりがいを感じます。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

道路の占用許可関係の業務を行っています。道路の占用とは、道路に電線や看板、地下管路（電気、ガス、水道等）などを設置することで、道路管理者の許可が必要となります。

主に、占用許可は関東地方整備局の事務所で行っていますが、特殊な事例があった場合に相談を受けたり、大規模な占用物件（地下通路など）については道路部路政課で許可しています。

また、許可にあたっては参照すべき法令や通知が多数存在しており、日々発出、改正されているため、それらの整理や周知を行っています。



Q2：現在の業務にやりがいを感じたのはどのような時ですか。

道路空間の利活用ということで、近年はオープンカフェなど、道路の敷地をイベント等で利用する取組も増えています。自分が許可に関わった案件で、実際にそのイベントに足を運んだことがありましたが、その際は自分の仕事が形になったと感じ、とてもやりがいを感じました。

普段はデスクワーク中心ですが、ときには現場に足を運び、自分たちの仕事が形になっているのを見られることも、やりがいにつながっています。

Q3：仕事をとおして自分が成長したと感じることはありますか。

仕事をしていく中で、上司や関係部署と連携していくことや、自分の考えを説明をする場面がありますが、コミュニケーション力や説明力が成長したかなと感じています。

このような能力は決して仕事のみで使う能力ではないので、人としても成長できたのではないかと感じています。

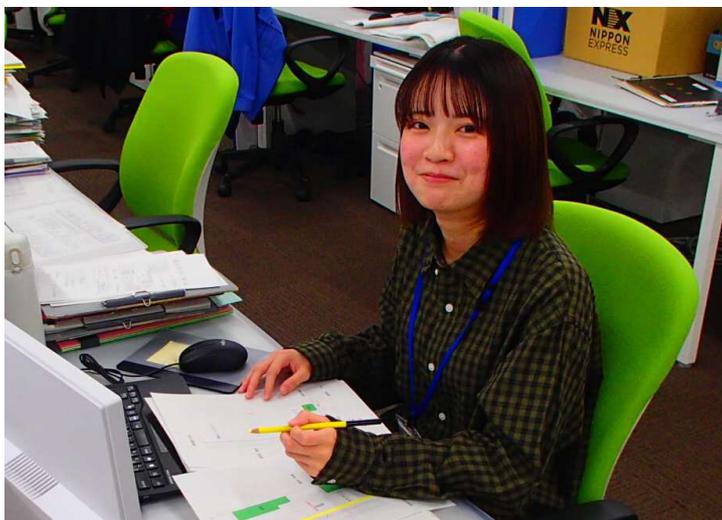
Q4：今の職場が働きやすいと感じるポイントを教えてください。

休暇はととてもとりやすいです。時間休暇や週休日との連続休暇など積極的に活用し、メリハリをつけて仕事をしています。上司、同僚とは持ちつ持たれつなので、業務を調整しつつ、皆が休暇を取ることに抵抗がない職場であると感じています。

また、初めて携わる業務でも、経験豊富な上司が丁寧に教えてくれますので、不安はありません。日々勉強なので、そこにやりがいも感じられます。



同僚と遊びに行くこともあります。



Interview

鶴田 優希

Tsuruta Yuuki

横浜国道事務所 管理第一課
令和5年度入省

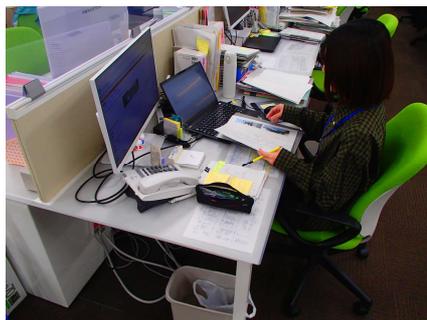
幅広い仕事ができることが魅力。
道路管理をとおして、地域活性化の取り
組みにも関わることができます。

Q1：関東地方整備局を志望した理由を教えてください。

事務という言葉で想像する仕事（総務・経理）以外にも、用地や道路・河川管理、建政など幅広い分野の仕事ができることに魅力を感じたからです。

Q2：現在行っている業務について教えてください。

道路法に基づく占用申請の審査や許可手続きを行っています。
直轄国道内における許可ですが、足場やイベントに伴う交通規制看板からバス停や国道の地下にある地下街や地下鉄駅など、大小さまざまな物件があります。



占用申請の書類を確認中。
申請書類は複数人でチェックを行い許可を出しています。

Q3：特に印象に残っている仕事はありますか。

箱根駅伝のルートでの徒歩パトロールや占用許可審査を行ったことです。誰もが知っている行事に仕事で関わることがとても印象に残りました。また、安全に開催できるように多くの方が携わっていることを実感しました。

Q4：職場の雰囲気を教えてください。

入省前は職場に対して堅苦しいイメージを持っていましたが、実際は日々業務に取り組む中で趣味の話や旅行に行った話など雑談もします。幅広い年代の職員が所属しているので色々な話が聞けてとても楽しいです。



開通前の道路や工事現場に行けることも整備局の魅力のひとつだと思います。

Q5：道路管理業務の魅力は何ですか。

安全安心な道路を保つように維持管理していくことはもちろんですが、道路空間を活用した地域のイベントや事業・自動運転バス運行の実証実験といった、街の活性化に向けた取り組みにも関わることだと思います。

事務官の仕事 -04

建政



建政の業務は「都市計画・住宅整備の業務」と「建設業・不動産の業務」があります。

「都市計画・住宅整備の業務」は、地方公共団体と密接なつながりを持ち、地域のまちづくりや住まいづくりを支援しています。

「建設業・不動産の業務」は、建設業等の許可や指導監督を通じ、建設・不動産業界の健全な発展を支援しています。



Interview

山添 莉紗

Yamazoe Risa

建政部 建設産業第一課

令和5年度入省

未来ある建設業界を創るための仕事にやりがいを感じています。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

主に、建設業の働き方改革・担い手確保の業務を担当しています。協会との意見交換会や会議等に向けての事務作業、作文コンクールや優良企業の表彰式の当日までのセッティングを行っています。また、審査業務も行っており、現在は、「建設分野の特定技能外国人の受入申請」という一定の知識・経験を持ち、必要な試験に合格した外国の方が在留資格「特定技能1号」を取得するための手続きに関わる申請の審査業務と、「建設業許可申請」という一定規模以上の建設工事を請け負う建設業者が、建設業法に基づき取得する必要がある法的な許可を得るための申請に関する審査を行っています。

Q2：業務にやりがいを感じたのはどのような時ですか。

審査業務に関しては、複雑な案件の審査を終えた時です。法令や規程に基づき審査をするため専門知識が身につく、複雑な案件に対応することで、問題解決力も鍛えられます。そういった自分のスキルが身につく点がやりがいを感じます。

協会との意見交換会や会議、優良企業表彰・作文コンクールの業務では、会場を押さえたり関係者の方と日程調整を行ったり、資料を作成したりと開催までに1か月近く準備することもあります。そういった案件が無事終わった後にやりがいを感じます。

Q3：建政業務の魅力は何ですか。

日本のインフラを支える建設業界は、担い手不足という大きな課題を抱えており、現在私が担当している業務では、そういった課題に対する意見交換会や会議などを行っています。その中で、現場に近い方々の声を政策に反映させ、働きやすく、若者入職者が増える未来ある建設業界を創ることに携われるのは、魅力のひとつだと思います。

建政 山添さんの ある日のスケジュール

9:15 出勤

- ・メールをチェックし、申請書類の審査をします。その他、申請者からの電話での問い合わせにも対応します。



10:00 意見交換会・表彰式準備

- ・意見交換会・会議、表彰式などの資料作成します。

12:00 昼休み

14:00 立入り検査

- ・建設業者へ立ち入り検査を行います。契約関係の資料を確認・指導を行います。

18:00 終業

- ・申請件数が多い時期・意見交換会、表彰式の準備の時期は残業することもあります。
- ・勤務時間後は、家で自炊したり、同期とご飯に行ったりもします。時間がある日はジムへ行って運動します。(最近はさぼり気味です…。)

■主な業務内容

・都市計画・住宅整備の業務

(地方公共団体から申請される都市計画事業の認可、交付金の交付手続きなど)

・建設業・不動産業の業務

(建設業の許可、宅地建物取引業の免許、マンション管理業・測量業等の登録、指導監督など)

■建政業務ができる部署

・本局建政部



Interview

安村 陽南

Yasumura Hinata

建政部 建設産業第二課

令和5年度入省

1都8県を舞台に色々な経験を積める職場。
自分のやりたいことが見つかるはず。

Q1：関東地方整備局を志望した理由を教えてください。

学生時代からまちづくりやインフラに関心があり、関東地方のインフラを支える関東地方整備局の仕事に興味を持ちました。説明会に参加し、事業規模の大きな業務に携われることや地図に残る仕事であることを聞き、やりがいのある仕事が出来ると感じました。また、幼い時から人々の生活の根幹を支える仕事がしたいと考えていたこともあり、社会資本整備を通して国民の安心・安全で豊かな生活を支えている関東地方整備局を選びました。

Q2：現在行っている業務について教えてください。

宅地建物取引業を営むためには、宅地建物取引業法で免許制度を実施することが定められていることから、免許を受ける必要があります。関東地方整備局は管轄区域内に本店を有し、二以上の都道府県に事務所を設置している国土交通大臣免許要件の宅地建物取引業者の免許権者となっており、免許に関わる様々な事務を行なっています。具体的には免許に関わる申請書類や各種届出書類の審査、免許証の発行、申請書類に関する問い合わせ対応のほか、宅地建物取引業法違反の疑いがある業者に対する通報の窓口も担っています。



Q3：業務の中で大変だったことや困ったことはありましたか。

業者さんからの問い合わせで、過去に事例のない内容だったため、どのように回答をするべきか悩んだ事がありました。自分で調べても答えを出せなかったため上司に相談したところ、上司も一緒になって調べたり、確認をして下さり、最終的に業者さんへ回答をすることが出来ました。困った際に相談しやすい環境ですし、サポートしていただけるので、安心して仕事に取り組んでいます。

Q4：関東地整を志望する方へメッセージをお願いします。

関東地方整備局の魅力は本局、事務所、出張所といった様々な環境で1都8県を舞台に色々な経験を積めるところです。本局では組織全体を取りまとめる規模の大きな仕事を経験する事ができますし、事務所や出張所では、地域の方々と近い距離で仕事ができ、やりがいも非常に大きいです。業務内容も多岐に渡るので、自分のやりたいことや得意分野を見つけることもできるはずです。

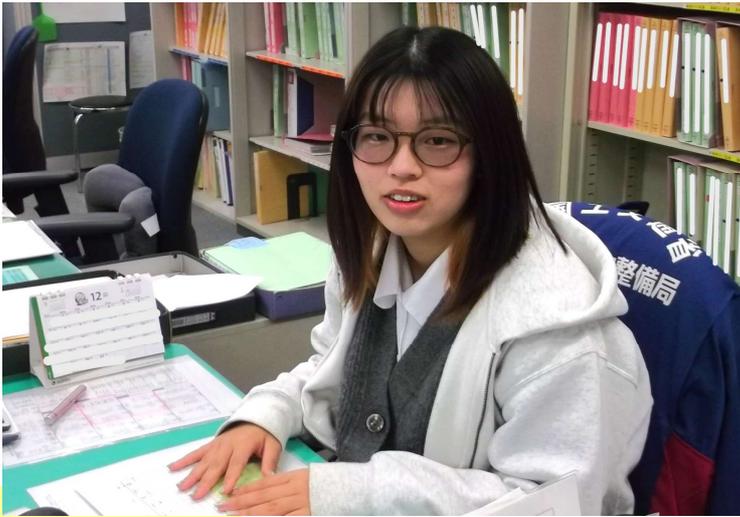
皆さんぜひ関東地方整備局と一緒に働きましょう！

総務・経理・契約



総務の業務は、職場環境の整備、職員管理、福利厚生、内外調整のほか、他の部署では扱わない必要不可欠な業務を担うなど広範囲にわたります。

経理・契約の業務は、予算の適正な管理執行、河川整備や道路整備などに必要な工事請負契約等の締結、国有財産の管理などを行います。事業担当部署と連携し、技術的な専門用語を理解したうえで、契約手続きや予算執行管理面でサポートしていきます。



Interview

松本 夏実

Matsumoto Natsumi

高崎河川国道事務所 経理課

令和6年度入省

大きな工事の契約は大変なことも多いですが、支払いを終えた時には達成感でいっぱいです。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

工事の契約担当をしています。発注課から提出されたスケジュールを基に、契約に向けての書類の確認や公表資料の作成を行います。支払書類を作成したり、変更契約に必要な見積合わせを行ったりします。

Q2：これまでで特に印象に残っている仕事はありますか。

担当している国道のバイパス工事が完成間近とのことで、そこで行われた啓開（災害時に緊急車両の通行確保を行う）訓練の見学に行ったことです。初めて実物を見ることができました。開通する前の道路の現場を直接見られたことが印象に残っています。

Q3：今の業務に求められるスキルは何だと思いますか。

判断力と理解力だと思います。

業者の方や発注課の方からの質問を理解し、正しい答えを伝える。共有しても良い情報なのかを判断する。などまだまだありますが、活用するところがたくさんあります。

Q4：契約業務の魅力は何ですか。

契約は、大きな工事だと契約を締結するまで大変なことが多いですが、支払いまで終わるとやりきった気持ちでいっぱいになれます。

確認事項や書類チェックなどの細かい作業がたくさんありますが、達成感があるのが魅力だと思います。



所内発表会で工事契約について発表しました

■主な業務内容

- ・職場環境の整備、職員管理、福利厚生、内外調整など
- ・予算の適正な執行管理・地方自治体の補助金申請受付など
- ・道路や河川などの工事請負契約の締結や、物品購入を行う際に必要となる入札の手続き
- ・土地・建物・立木・船舶・工作物など国有財産の管理

■総務・経理・契約業務ができる部署

- ・本局総務部
- ・事務所総務課、経理課
- ・出張所



Q5：職場の雰囲気をお教えてください。

とても働きやすい環境です。

気にかけてくださる方が多く、相談事や悩み事も言いやすい環境だと思います。

困っていたり、行き詰まりそうになった時には話を聞いてくださり、一緒に解決に向けて動いてくださります。とても助かっています。

Q6：あなたのリフレッシュ方法やオフの日の過ごし方を教えてください。

車を買ったので、ドライブによく行きます。観光名所に行ったり、目的地を決めずに行きたいところに行ったりと様々です。

あとは編み物にはまっているので、編みたいものをひたすら編んで一日が終わることもあります。好きなことを好きなだけ、をモットーに楽しんでいます。



Q7：関東地整を志望する方へメッセージをお願いします。

大きな場所で働くのは楽なことばかりではなく、むしろ大変に感じることも多いこともありますが、その分達成感や、やりがいを感じることも多いです。

たくさんの方と関わることができる職場であり、いろいろな場所に行く機会がある職場でもあります。多くのことを経験できる場所だと思います。

皆さんと一緒に働けることを心よりお待ちしております！



経理 松本さんの

ある日のスケジュール

8:30 出勤

- ・最初にメールチェックと今日やるべきことを確認します。



10:00 見積合わせ

- ・変更契約の見積合わせ（受注者から提出された見積書を開封して予定価格と照合する作業）を受注者と行います。主に電子で行うことが多いです。

12:00 昼休み

- ・事務所で注文できるお弁当を食べています。近所のお店でランチをすることもあります。



13:00 書類チェック

- ・新規の工事を発注するために必要な書類が発注課より送られてくるため、ミスや修正箇所がないかチェックします。

15:00 決裁

- ・契約書類の内容について、所属長や副所長に確認してもらい、決裁をとります。

17:15 終業

- ・年度末や新年度は工事発注が多いため残業をすることもあります。
- ・早く帰れる時は若手の方達と飲みに行ったりしています。

総務・経理・契約



Interview

清野 大貴

Seino Daiki

総務部 人事課

令和2年度入省

目立たないけれど、多くの職員に頼られる仕事だと感じています。

Q1：関東地方整備局を志望した理由を教えてください。

関東は人や企業が集中しているため、そのインフラに携わることができる仕事に興味を持ったからです。また、事務官でも技官と近い距離で業務を行っているという点も、他の組織にはあまりない魅力だと思いました。

Q2：現在行っている業務について教えてください。

職員の通勤手当などの諸手当認定業務、年末調整業務、その他給与を支払うために必要な作業等を行っています。

Q3：仕事をする上で心がけていることはありますか。

関東地整内でも特定の業務に携わらないと聞かないような専門用語があるため、そういった専門用語や難しい言葉を頻繁に使用せず、わかりやすい言葉で丁寧に説明することを心がけています。

Q4：これまでで特に印象に残っている仕事はありますか。

災害発生時の対応業務が印象に残っています。災害時は防災担当でなくとも災害対応を行うため、普段と違う業務ができるのは新鮮でしたが、災害対応は正確さやスピードが大事になるのでその点は苦労しました。

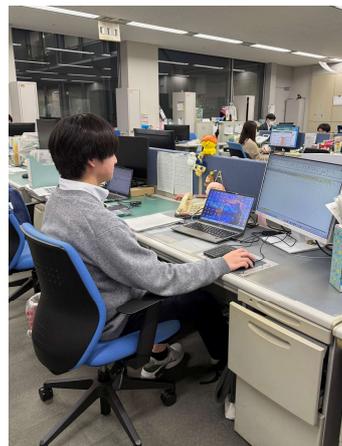


Q5：総務業務の魅力は何ですか。

他から見てあまり目立つ業務ではありませんが、多くの職員に頼られる業務でもあると感じているので、そういった点が総務系の魅力だと思います。

Q6：関東地整を志望する方へメッセージをお願いします。

関東地整の業務は多岐にわたるため、はじめは覚えることも多く大変ですが、その分様々な経験を積むことができます。少しでも関東地整の業務に興味を持っていただけたらうれしいです。





Interview

上野 菜月

Ueno Natsuki

川崎国道事務所 総務課

令和6年度入省

事務所の顔であることを忘れず、親しみやすい接し方を心がけています。

Q1：現在行っている業務について教えてください。

主な業務は給与事務で、職員の方々の給与や通勤手当・扶養手当・超過勤務手当などをチェックし、正しい金額がご本人に支払われるようにしています。

その他にも、職員の方が外出した際の旅費が正しい行程、金額かどうかのチェックを行う旅費事務や、庁舎の保全にかかわる業務などを担当しています。

Q2：これまでで特に印象に残っている仕事はありますか。

令和7年度に川崎国道事務所が55周年を迎え、記念誌を編纂したことです。

各課から提出された原稿を一つにまとめたり、表紙デザインを考えたりしました。何度も修正をしたので大変でしたが、出来上がったときは達成感がありました。

Q3：仕事をする上で心がけていることはありますか。

相手が接しやすいよう、穏やかで親しみやすい接し方を心がけています。

総務課では窓口対応を行うことも多いので、自分自身が事務所の顔であるということを忘れず、失礼のないように接しています。また、事務所内の人から相談を受けることもあるので、相談しやすいような話し方、聞き方を心がけています。

Q4：総務業務の魅力は何ですか。

ほかの課のように直接大きな事業に携わることはほとんどありませんが、大きな事業に携わっている方々のサポートができることです。

総務の仕事がないとほかの仕事が成り立たないので、縁の下の力持ちになったような気がします。

Q5：今後のキャリアについての目標を教えてください。

明確な目標などは定めていませんが、事務官は総務や経理・契約だけでなく、用地や管理などの職務につくことができるので、これから様々な職種を体験して自分が最も活躍できるものを探していきたいです。



庁舎の保守点検業務の立ち合いをしています。
写真のように天気の良い日は屋上から富士山が見えます！

経験者採用職員 Interview

キャリアを活かす。



関東地方整備局では社会人経験を積まれた方の係長職採用を行っています。総務・経理・不動産業・建設業など、これまでのキャリアを活かし、新たな視点を持って関東地方整備局での業務にあたる方をお待ちしています。



中田 智

Nakata Satoshi

道路部 路政課 行政第三係長
令和3年度入省

前職：建築資材の営業職

前職における勤務地の一つ、宮城県が東日本大震災により被災し、近年では令和元年東日本台風により関東地方も甚大な被害に見舞われ、公共インフラの維持・管理・災害対策の重要性を強く認識しました。人口減少が進み、かつてないほどの自然災害が頻発する日本において、地域の方々や子供たちが安心して暮らせるための一助になりたく、入省を決意しました。

現在は、国が維持・管理すべき道路の範囲（道路の区域）を定める手続きや、新たに完成した道路を開通させる（供用の開始）手続きのほか、道路を適切に管理するために関係者間で締結する協定等に関する事務を行っています。

前職では建築資材の営業職に携わり、多くの取引先や建築関係者と信頼関係を構築するため日々コンタクトを図っていました。営業の現場で培った「相手の立場に立って考える力」や「人と人をつなぐ力」は、関東地整での仕事においても欠かせない要素です。

私は関東地整に入省後、用地買収や道路管理事務に携わりましたが、省内外を問わず多様な関係者との丁寧な調整が欠かせません。前職で得た経験が大きな支えとなり、日々の実務に活かされています。前職での経験に感謝しつつ、現在は首都圏の道路を守る国土交通省の一員として働けることに誇りを持っています。これから入省される皆様と一緒に、新しいチャレンジが出来る事がとても楽しみです。





濱本 陽子

Hamamoto Youko

利根川上流河川事務所 総務課 総務係長
令和4年度入省

前職：金融関係企業の営業職

関東地方整備局に入省したのは、旅行などで自然に触れることが好きだったので、河川やダムに関わる仕事に興味を持ったことがきっかけです。また、事務所を異動しながら、様々な知識を習得できると思いました。

現在は、河川を管理する事務所の総務課に勤務しています。職員の勤務時間の管理や諸手当などの給与事務、庁舎の保安全管理に関する業務を行っています。

前職とは全く違う業務内容で、慣れないうちは不安もありましたが、上司や先輩、本局の担当者に相談できる環境なので、日々、学びながら働いています。



給与事務では勤務時間や諸手当の支給額に相違がないかを確認しています。



武次 法孝

Taketsugu Noritaka

霞ヶ浦河川事務所 総務課 総務係長
令和7年度入省

前職：消防官（火災・救急・救助現場活動のほか、総務・用地事務や訓練の企画など多くの業務を経験）

関東地方整備局に入省したのは、近い将来、発生が懸念されている南海トラフ地震や首都直下地震に対し、自身がこれまで培ってきた経験や知識を、地元を守るためだけでなく関東、全国という広いフィールドで活かしたいと思ったのがきっかけです。

現在は、給与、福利厚生、勤怠管理など総務関係の事務を行っています。総務課とはいえ、事務だけではなく、堤防点検、現場研修等、外に出る機会も度々あります。

実際に入省してみて、休暇のとりやすさはもちろんですが、フレックスタイム、テレワーク制度の活用など、働きやすい環境が整っているなとすごく感じます。

また、初めての土地で仕事をすることがとても新鮮ですし、新たな発見の毎日です。

「自身のこれまでの経験をどうやって活かせるのか不安」と思う方もいるかもしれませんが、安心してください。経験に勝る知識はありませんし、みなさんが培ってきた経験を活かす場所は必ずあります。

ロープを登ったり、火を消したりしていた私でも活かしていますから（笑）



堤防点検の様子

働く環境・研修制度(福利厚生・キャリア支援)

● 勤務条件

勤務時間

8:30~17:15

(特別区、さいたま市、横浜市、川崎市内の勤務官署は9:15~18:00)

休日

土日および祝日(完全週休2日)、12/29~1/3、年次休暇20日(年20日まで翌年に繰越可能)、その他、結婚休暇、夏季休暇3日、出産休暇、ボランティア休暇、介護休暇など

また、休日に出勤したときには、代わりに平日休むことができます。

● 住まいについて

公務員宿舎

事務所周辺には公務員宿舎があります。宿舎には「世帯用」、「独身用」があり駐車場もあります。一般的な賃貸住宅に比べて経済的です。

住居手当

民間の賃貸アパート等を借りた場合には、毎月の賃料に応じて住居手当が支給されます。



● その他手当

扶養手当、通勤手当、期末・勤勉手当(賞与)、地域手当、寒冷地手当、単身赴任手当、超過勤務手当などが支給されます。

● 福利厚生

福利厚生サービス

毎日の生活や休日に役立つ、多彩なメニューがお得に利用できる会員専用福利厚生サービスがあります。

(映画券補助、宿泊補助、トレーニングジム補助等)

ワークライフバランスの取り組み

職員が安心して長く働き続けられるよう、仕事と家庭の両立支援のための様々な制度があります。

主なメニュー

フレックスタイム

AM5時~PM10時の間で勤務時間を設定できます

テレワーク

支給PCを持ち帰り、自宅等で仕事を行うことができます

休暇の取得促進

年間15日以上取得することを推奨
休暇の取りやすい職場です

育児・介護支援等

産前・産後休暇、配偶者出産休暇、育児のための休暇、子の看護休暇、育児休業、育児短時間勤務、育児時間、介護休暇、介護時間、短期介護休暇 など

超過勤務縮減

定時退庁日(毎週水、金、給与支給日)を設定するなど、職場全体で定時退庁を強化する取組を行っています

メンター制度

新規採用職員には専属の先輩職員が1年間フォローアップを行う制度があります



Interview

武島 百華

Takeshima Momoka
総務部 人事課
平成31年度入省

自分らしい働き方を実現し、仕事と家庭を両立

令和6年5月に産前休暇に入り、育児休業を経て令和7年5月から職場復帰しました。現在は育児短時間勤務(週3日勤務)を利用し、保育園の送迎に合わせて柔軟に働いています。

制度を活用することで、自分らしいワークライフバランスを実現でき、仕事と家庭を楽しみながら両立しています。
また、心身に余裕があるおかげで、休日は趣味の旅行を楽しむなど充実した日々を過ごせています。

自分らしい働き方を実現できる環境が整っていますので、ぜひ安心して挑戦してください!



大好きなディズニーは毎月行っています!

研修制度

知識や経験を積み、さらにスキルを伸ばしてもらえよう、一人ひとりの成長を強力にサポートする研修や制度を用意しています。
実施方式も、研修内容により対面やオンラインなど様々です。

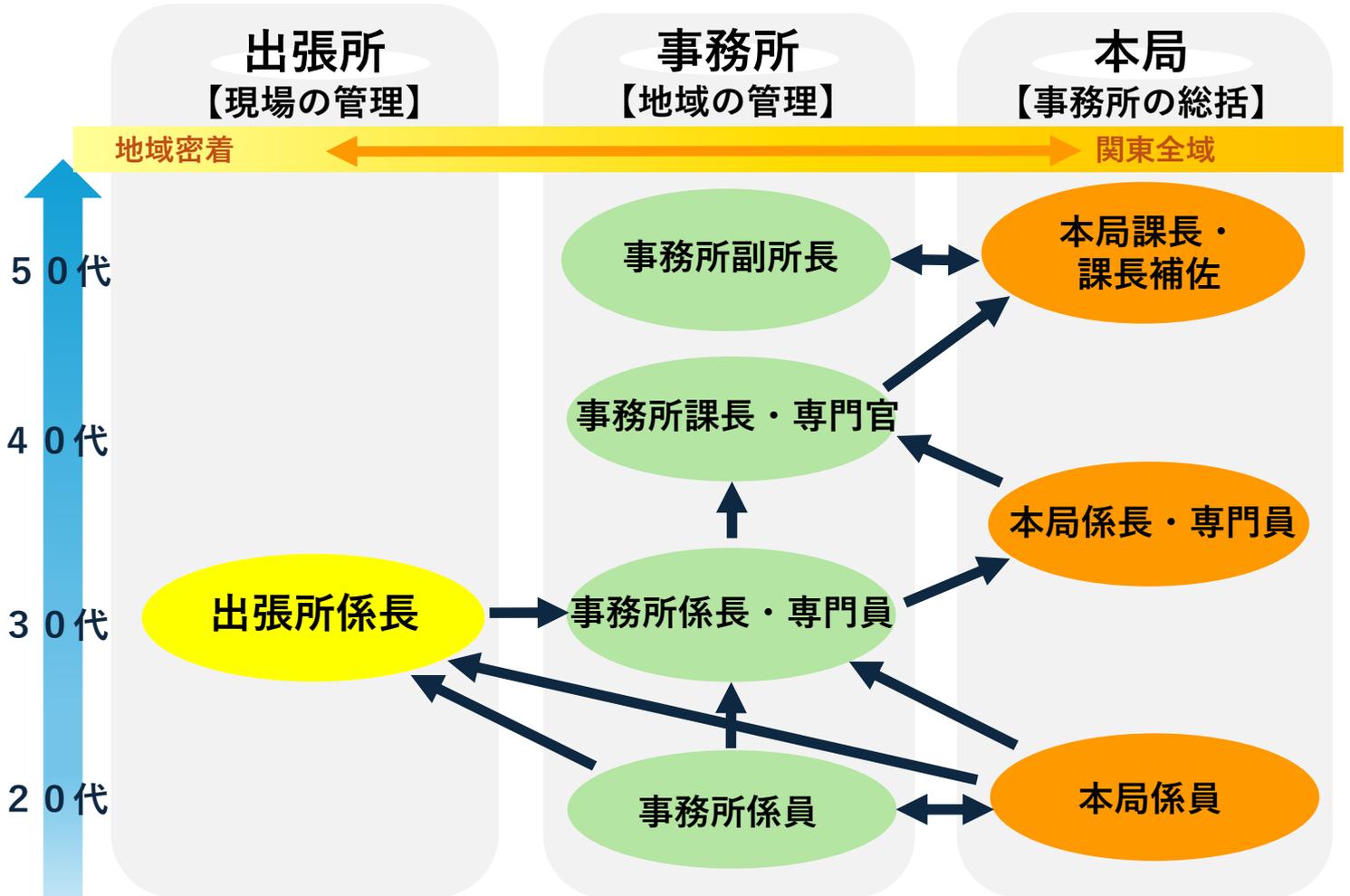


※研修内容は一例です。
※このほか、他機関が主催する研修へ参加する機会もあります。

事務官のキャリアパス

関東地方整備局に採用されると、原則として事務所または本局に配属されます。概ね2～3年ごとに異動し、様々な経験を積みながら、係長、課長とキャリアアップしていきます。

多くはありませんが、国土交通本省や地方自治体等へ出向することもあります。



Interview 前澤 英男

Maesawa Hideo
総務部 厚生課長
平成5年度入省

これまで係員や係長、管理職の立場でダム建設や河川改修など多くの国家プロジェクトに携わってまいりました。私のキャリアパスはあくまで一例ですが、キャリアアップに目を向けた場合、職場で様々な経験を積み、それを糧として一歩ずつ歩んできた道筋だと考えております。

キャリアパスは、自身が将来目指す役職などに向けて、どのような経験を積むべきか、どのようなスキルを身につけるべきかなど、目標を達成するための道筋を意味します。

入省に際し、将来に対する不安を感じる方もいらっしゃると思いますが、まずは一つ一つ経験を積み、自信を持つことで、具体的な目標が見えてきます。その目標を目指すことが新たな責任と挑戦へのステップとなり、その積み重ねが自身の望む道筋を切り開くことになると思います。

皆さんの輝かしい将来を応援します！

私のキャリアパス

- 平成5年(入省)～
(事務所・本局係員時代) 荒川上流工事事務所 経理課
工事契約事務を担当
本局 河川部 水政課 他
河川管理事務を担当
- 平成15年～
(事務所係長時代) 利根川上流河川事務所 管理課 係長
- 平成18年～
(本省・本局係長時代) 本省 河川局 水政課 係長(出向)
本局 総務部 契約課 専門員
本局 総務部 人事課 係長
他
- 平成27年～
(事務所課長時代) ハッ場ダム工事事務所 総務課長
荒川上流河川事務所 用地第二課長
- 平成30年～
(本局課長補佐時代) 本局 総務部 総務課 課長補佐
本局 総務部 人事課 建設専門官
他
- 令和4年～
(事務所副所長時代) 渡良瀬川河川事務所 副所長
- 令和6年～ 本局 総務部 人事計画官
本局 総務部 厚生課長(現職)

若手先輩職員に 聞きました！

採用1年目の先輩職員に、関東地整を選んだ理由や採用後の生活についてインタビューしました。

■ どうして関東地整を選んだの？

- ・インフラに携わるスケールの大きな仕事に魅力を感じたから。
- ・地元で大雨の被害があり、防災や河川の維持管理に興味を持ったから。
- ・なじみのある関東で、社会に役立つ仕事ができるという点に魅力を感じました。
- ・地図に残るような大きな仕事に携わりたかったから。



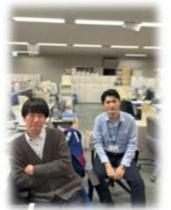
■ 最近仕事で楽しかったことは？

- ・教えてもらったことのある仕事を一人できちんとできたときは、成長している気がして楽しいです！
- ・仕事の現場で富士山を間近に見られたこと。
- ・現場に行ったこと。事務職でも現場に行くことができるのでやる気が出ます！



■ 正直忙しい？

- ・先輩や上司の方がちょうどいい量の業務を振ってくれるため、忙しいと感じることはありません！
- ・新しいことを覚えるのは大変ですが、今のところは残業もなく楽しく働いています！
- ・覚えることが多いのでほどほどに忙しいです。
- ・4月は忙しかったけれど、今は落ち着いています。



■ 職場の人間関係は？

- ・先輩職員の方は本当にあたたかい方が多く、一つ一つの仕事を丁寧に教えてくれるので、仕事も毎日前向きに取り組んでいます！
- ・同期とは月1くらいでご飯に行っており、先輩・上司の方々は優しい方ばかりで不満が全くないです。
- ・職場の雰囲気はとてもよく相談しやすい環境です！



■ 休日の過ごし方は？

- ・映画館に行ったり街を散策しています。
- ・どこかに出かけることもあれば家でゲームすることもあります。
- ・おいしいご飯やきれいな景色の場所を探しています。
- ・家でアニメを見たり、友達と小旅行に行ったりしています。



■ これからどんな仕事がやりたい？

- ・TEC-FORCEに参加したいです。
- ・分からないことが多いので、とにかく色々なことに関わりたいです。
- ・用地課なので用地交渉をやってみたいと思っています。
- ・関東地整が行っている事業に直接関わる仕事をしたいです。
- ・現場にたくさん行ける仕事がしてみたいです。



関東の「未来」を一緒につくってみませんか。



 国土交通省 関東地方整備局
総務部 人事課

〒330-9724
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
さいたま新都心合同庁舎2号館
☎048-601-3151

<https://www.ktr.mlit.go.jp>

▶国土交通省関東地方整備局 採用サイト
<https://www.ktr.mlit.go.jp/recruit/>



関東地方整備局 採用

検索